

# かるがも



第35号

発行所 千葉県こども病院

〒266-0007 千葉市緑区辺田町579-1

TEL 043-292-2111

FAX 043-292-3815

<http://www.kodomo.umin.jp/>

## 栄養科による病棟での食育

栄養管理はすべての治療の基本となる大切なことで、食事で必要栄養量を満たせば何よりです。でも食欲は空腹感だけでなく、気分や雰囲気、好き嫌いにも左右され、特に子供は食べたくないものを努力して食べるという行為が困難です。そこでおいしい食事を提供する努力と並行して、病院食をもっと知って親しみを感じることや、おいしく楽しく食べられることへの努力も必要と考え、平成22年度から血液・腫瘍科病棟で、平成24年度からは整形外科病棟も加えて食育活動に取り組んでいます。

血液・腫瘍科では、化学療法の副作用により病院食に嫌悪感を抱いてしまうことがあります。それを払拭できるような楽しい食事を経験できるように、調理実習としてみんなでおやつを作って食べたり、スタッフとの会食、栄養士による調理実演を行ったりしています。また、生涯にわたる健康管理に必要な栄養の知識を伝えることも行っています。



整形外科では、肥満のコントロールが必要な疾患の場合、入院中は順調に減量できても退院後にリバウンドするケースが多くあります。楽しく栄養の知識を得ることで、自己管理の手助けにすることを目標としています。また入院が長期になると、学校や家庭での食育を逃しているのので、その機会としています。

## 医療安全管理室について

患者さんにとっても職員にとっても、患者さんへの医療行為がすべて予定通りに安全に進むことは大きな願いです。当院では、2007年に病院長直属の組織として医療安全管理室を設置、専従および専任の職員を配置し、各組織との連携をはかりながら、積極的に医療安全向上のための活動を行っています。

情報収集のため、診療経過のなかで予定外のことが起こったケース、あるいは起こりそうになったが未然に防げたケースについても、レポートにより医療安全管理室に報告する体制をしいています。レポートは各部署のリスクマネージャーを集めた会議で集計し、原因を分析したうえで対策がたてられ、それを実行し、また見直し実行するというサイクルを意識しながら改善をめざしています。予定外の事例の大半は人間のミスにより発生しますが、対策としては、「人は誰でも間違える」ということを前提に、手順の見直し、ルールやシステムの作成または見直しが基本です。

また医療安全管理室では、全職員を対象に医療安全研修、医療安全にかかわる情報提供などを行い、医療安全文化向上のための活動も行っています。

患者さんが安心して医療を受けられるよう努力することが我々の活動です。

(青墳)

## 睡眠時無呼吸検査の紹介

睡眠時無呼吸症候群とは、10秒以上の呼吸停止（無呼吸）が一晩の睡眠中（7時間）に30回以上、又は1時間あたり5回以上見られる症状を指します。通常睡眠時無呼吸と聞くと大人の病気のように思われがちですが、小児でも習慣性のいびきや、昼間の強い眠気等から多くの患者さんが受診しています。当院では、ポリソムノグラフシステムAlice 4（レスピロニクス社）を用い、呼吸状態や酸素飽和度等を終夜連続して測定します。検査結果のパターン分析から上気道閉塞と呼吸努力を伴う閉塞性、上気道閉塞が無く呼吸努力の伴わない中枢性、両方の性質を併せ持った混合性の3種類に分けられますが、無呼吸の重症度や種類を調べる事によって、それぞれに対する治療が行われています。

新生児も含めて詳細検査を行っていますが、多くのセンサーや脳波電極等の装着が必要な上、小児ということから、患者さんの協力を得ることが難しい場合も多く、色々な工夫をしてより良い検査ができるよう努めています。



## 公開カンファレンスのご案内

登録医の先生方からいただいたご意見・ご希望等を参考に身近な疾病等をベースにした講演と当院スタッフとの意見交換を行っています。

第23回は平成25年6月26日19時30分より当院第一会議室で開催いたします。先生方のご参加をお待ちしています。

- 1) 末梢血に異常がないことがあります
  - －四肢痛を主訴に御紹介いただいた悪性腫瘍の患者たち－
- 2) 生後1カ月女児、呼吸困難・心拡大の1例
- 3) C型肝炎の治療について
- 4) 創傷治療 －創縫合と処置－

血液・腫瘍科  
 心臓血管外科  
 代謝科  
 形成外科

第22回は平成25年2月27日に開催し、多数の先生方のご参加を頂き、以下の4題についておこなわれました。

- 1) 全身麻酔下手術を必要とした涙嚢粘液嚢胞
- 2) R S ウィルス感染を契機に診断された先天性心疾患の1例
- 3) 小児科医に知っておいてほしい整形外科の知識
- 4) 小児救急総合診療科へはどのような患者を紹介するのがいいのでしょうか？

眼科  
 循環器科  
 整形外科  
 小児救急総合診療科

## 千葉県こども病院県民公開講座

平成25年2月23日（土）14時～17時 会場：千葉市「きぼーる」

テーマ 1 「むし歯は自然に治る！？ －口腔ケアのポイント」

千葉県こども病院 歯科部長 甲原 玄秋

2 「食は知力、体力。免疫力、成長のもと」

帝京平成大学健康メディカル学部健康栄養学科 学科長 教授 児玉 浩子

講演会場に隣接し託児所を設け、小さなお子様連れのご家族も多数おみえになり、多くの反響をいただきました。

次回は下記を予定しています。

平成25年7月21日（日）14時～16時30分 会場：千葉市「きぼーる」

テーマ 「頑張りすぎない子育て －ポジティブ・ディシプリンのすすめ－」

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 森 郁子





# すくすく通信

このコーナーは診療科を順にご紹介します。

## 産科

「千葉県こども病院産科は2012年3月オープンし、昨年の4月2日より江口修、末田雅美の2名で診療開始しました。当院は従来より異常新生児に対する外科的対応を含めた高度な診療の機能を持っていましたが、これまでは院内での分娩ができなかったため重症新生児の搬送に伴うリスクを避けられず、また分娩後の母子分離などの問題がありました。この度の産科開設により出生前診断され、出生後早期に治療が必要と思われる児を院内で出産していただくことにより搬送のリスクを回避し分娩後直ちに治療開始することで一層効果的な治療を行うことができるとともに、母子分離に伴う母親の不安感を軽減できると思います。また出生前より関係各科と連携を持つことで、出生後の児の治療方法を検討し母児にとってより適切な分娩時期や分娩方法を選択できるものと考えます。



江口 修

しかしながら現在1名が休業に入っているため、1名での診療体制となっております。このため当院だけですべてに対応するのは困難なため、千葉大学との完全な併診体制をとり、休日・夜間は千葉大学での対応（分娩も含めて）となります。また母性内科がないため母体合併症のある妊婦への対応もできません。そのため患者さま紹介にあたっては、最初の窓口として千葉大学病院の周産期・母性科にご紹介をお願いします。

最後に、施設の紹介をします。周産期センターは既存棟に増築された3階建てで、

- 1階：産科外来診察室、遺伝相談室
  - 2階：母体・胎児集中治療管理室4床、母体管理病床9床
  - 3階：分娩室、分娩手術室、\*LDR1床及び新生児集中治療室（NICU）9床
- \*LDR・・・陣痛室・分娩室・回復室が一体となった個室

14床からなります。また2階の落ち着いた雰囲気のリビングは、食事や面会スペースとして快適にご利用いただけると思います。

## 脳神経外科

千葉県こども病院脳神経外科は、千葉県で唯一小児脳神経外科を専門とする施設です。小児脳神経外科で扱う疾患には成人のそれと同様腫瘍、血管障害、頭部外傷（虐待によるものが増えています）がありますが、加えて先天性疾患が多いことに特徴があります。多くは水頭症、脳瘤、二分脊椎（脊髄髄膜瘤、脂肪腫など）、頭蓋骨縫合早期癒合症など奇形的要素をもつ疾患です、これらは「昔ながら」の疾患とはいえ、近年その診断や治療には大きな進歩がありました。まずMRIによる出生前診断の確立があげられます。例えば先天性疾患の代表と



伊藤 千秋

もいえる脊髄髄膜瘤については、数年前まで出生前診断例は30%程度でしたが最近の2～3年で70%ほどに上昇しています。もっともこれは産科の先生方の努力によるもので、我々脳神経外科医はこの情報をどのように患者さんやその家族の利益に結びつけるかが問われています。治療面では内視鏡手術の普及があげられます。脳神経外科で用いる神経内視鏡はファイバーの直径が2～5mmという非常に細いもので、主に水頭症の治療に用います。シャント手術とは異なり依存（＝一度シャントを入れれば一生それが必要となる）が生じないことが最大の利点です。すべての水頭症例に適応できるわけではありませんが、我々にとって大きな武器の一つになっています。

最後に脳腫瘍患者の親御さんを対象とした茶話会について触れたいと思います。こどもが脳腫瘍と診断された親御さんの不安を少しでも解消できれば、という趣旨で病棟看護師と一緒に始めたものです。できるだけ正確な情報をお伝えするとともに親御さん同士の語らいの場をつくることを主な活動としています。幸い多くの親御さんから好評をいただいております。

以上脳神経外科の近況を述べました。現在伊達院長を含め5人の専門医が診療に携わっています。可能なかぎりすべての要請に答えられるよう努力する所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## かるがもボランティアーズ

千葉県こども病院患者家族の宿泊施設のお掃除活動がきっかけで始まった「かるがもボランティアーズ」の活動をご紹介します。

### お掃除ボランティア

宿泊のご家族が気持ちよく滞在できるよう、月二回、ハウス内のお掃除をしています。

### 移動図書

お子様だけでなくご家族の方々に本を好きになっていただけるよう、4つのカートにぎっしり乗せられた本を各病棟に運び、貸し出しています。

### 遊びのボランティア

入院中のお子様の遊び相手です。病棟内での活動です。

### きょうだい支援

留守番組のきょうだいも寂しい思いをしています。親御さんが病棟に入っている間、きょうだいの遊び相手になります。

### 花慕（はなボ）

広大な病院敷地を花で埋めて、通院のお子様やご家族に明るい雰囲気プレゼントしようと活動しています。

小さな活動ですが、とてもやりがいがあります。参加してみませんか？

かるがもボランティアーズ・コーディネーター 井上富美子

## こども・家族支援センターの紹介

平成24年4月から地域医療連携室からこども・家族支援センターに名称が変更になりました。高柳副院長を長として、竹中副看護局長（統括者）・看護師長・小児看護専門看護師・看護師・MSW・認定遺伝カウンセラー・CLS・事務で活動しています。

業務としては、相談・指導・退院調整・在宅移行支援・地域連携を中心に行っています。活動の一つとして

訪問看護ステーション公開講座を年2回（9月・1月ごろ）

県民公開講座を年2回（7月・12月ごろ）

登録医対象の公開カンファレンスを年3回実施しています。（6月・10月・2月）

その都度、関連施設にはお知らせをいたしますので、よろしくお願いいたします。



## 駐車場拡張

当院は郊外に立地しているため自家用車で来られる方多く、駐車にはご不便をおかけしてまいりました。昨年より第4、5駐車場を新に設け、患者様用に245台分を確保しております。このため以前に比べご迷惑をおかけすることが減少しています。また最寄り駅である鎌取駅と千葉県リハビリセンター間で運用されているマイクrobাসは患者様は無料でご利用いただけるようになりました。



千葉県こども病院

〒266-0007 千葉県千葉市緑区辺田町579-1  
TEL.043-292-2111 FAX.043-292-3815

詳細は病院ホームページをご覧ください。 <http://www.kodomo.umin.jp/>